



広報クイズ

クイズに答えて素敵な商品を当てよう！
舞鶴の特産品やお土産などを抽選でプレゼントします。問題の○は正解、△はまる文字や数字をお答えください。このクイズは紙面の中に。

問題1

まじむる満喫クーポンを巡る
「○○○」

問題2

AーヨーTを活用
人に寄り添う○○○○

問題3

誰にも優しい共生社会の実現に向けて
8月は○○○○月間

「広報まじむるアンケート」

「広報まじむる」の内容の満足度は、次のうちどれですか？

- ①大変良い
- ②良い
- ③不満
- ④大変不満

◆広報まじむる8月号で面白かった記事は何ですか？

◆あなたの地域で自慢できる場所や文化を教えてください

「応募方法」

「はがき(〒665-8555)住所不要舞鶴市役所広報広聴課(左)か市ホームページ応募フォーム(左)コードからアクセス可」で①クイズの答え②「広報まじむる」アンケートの回答③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号の広報紙や市政への意見などを記入し、8月25日(火)消印有効までに広報広聴課へ。

※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※お寄せいただいた感想、ご意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります。アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。



◆広報広聴課(☎66・1041)

8月号プレゼント

「越前織 舞鶴市ストラップ(非売品)を5名様に

福井県坂井市の特産品である織物「越前織」で作られたネックストラップです。同市が主催する全国ストラップデザインコンテストで大賞を受賞した、赤れんがとみなとをモチーフにしたストラップです。ここでしか手に入らない非売品！

- ① まい
- ② フレイル
- ③ 熱中



8月は人権強調月間

今年野外で
星空映画上映会を開催

この機会に、家庭や地域で人権について話し合ってみませんか？

「人権啓発推進課」

※当日は、新型コロナウイルス感染症対策を行い実施します。各自でも、検温やマスクを着用して参加してください。

市では、障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら、共に心地よく住みやすい「誰にも優しい共生社会の実現」を目指し、啓発活動に取り組んでいます。8月は「人権強調月間」。今年野外で人権映画上映会を開催。



夢中になる時間

Our community
自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介

居場所づくり教室(母子福祉会)

母子福祉会では、ひとりの親家庭の子どもを対象に「居場所づくり教室」を開催中。それぞれの居場所をつくる府下でも先進的な取り組みです。講師には元教師を派遣してもらい、府からの補助や中総合会館の自動販売機の売り上げ金で活動。8年以上続くこの活動は新型コロナウイルスの自粛期間中もプリント学習で乗り切りました。幅広い学年が集まり、

生徒同士で教え合い学ぶことも。子どもも大人もつながりづくりになります。講師やひとり親家庭で興味がある人はぜひ教室をのぞきにきてください。

▼詳しくは、母子福祉会の常務さん(☎0800・1421・8186)へ。

◆南公民館：毎週日曜日の9時～12時、毎週金曜日の18時～21時
◆西総合会館：毎週火・土曜日の18時～21時



掲載団体を随時募集中 問 広報広聴課(☎66・1041)
自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介(応募多数の場合優先)。下コードからアクセス可。



ドクターのひとりごと

その91

地元を知り「ふるさと舞鶴」を誇りに思う取り組み



「2018年に舞鶴市歴史文化基本構想が策定された。本市は古代から現代まで海と共に発展してきた歴史文化を有し、日本の歴史において大きな役割を果たしてきたまちであることを改めて認識した。舞鶴は何もない田舎と仰られる市民がおられるのも事実である。私は小学生の頃からこのまちの重要性を両親から聞いていて、30歳の時に初めて暮らすことになった。よき者若者でスタートし、40年の歳月が経過した。市民の皆様には、ぜひとも地元について学んでいただきたいと思いつつ、

が、コロナ禍で地元で過ごす機会が増えている現状を生かし、まさに今が、地元の歴史文化、地域資源を学び、体験する絶好の機会であると思っている。

そこで、市役所の3部3室5課が連携し、全庁的な取り組みとして、コロナ禍対策の国の交付金を活用したマイクロツーリズムの推進と地域の魅力を再発見する「まじむる満喫クーポン事業」、ICT(情報通信技術)とVR(仮想現実)技術を活用した分かりやすい情報発信や地域学講座、各地域に伝承される祭礼・芸能の動画作成と、データベース化に取り組みたいと考えている。多くの市民が参加し地元を熟知され、まちの誇りと活力が増大することを期待している。

て学んでいただきたいと思いつつ、

野外上映会「ぼくはうみがみたくなりました」



自閉症児の父親であった脚本家の山下久仁明さんが書き下ろした小説が原作で、全国の賛同者の寄付金をもとに映画化されたもの。一人の自閉症の青年を取り巻く人々の人生や心の成長を、ときにユーモラスに、ときに厳しく、そして温かく描いた感動の物語です。出演は、大塚ちひろ・伊藤祐貴・大森暁美・秋野太作ほか。

【日時】8月29日(土)18時50分～21時
【場所】総合文化会館北側(悪天候の場合は小ホール)
【対象】市内在住の人 【定員】先着100人
【申し込み方法】8月3日(月)8時30分から電話で人権啓発推進課(☎66・1022)へ。
【その他】日本語字幕付き。補聴器用磁気ループ席あり(予約が必要)。上映前には「自閉症って…なんだ?」をテーマに原作者の山下さんとリモートトークを実施。

広報通信

～7月号広報クイズのアンケート結果を紹介～

◆応募件数(7月15日時点)

60件(フォーム33件、はがき27件)

◆7月号の人気記事

- ◆1位…オシャレなふるしき活用術(13票)
- ◆2位…フレイル予防で健康長寿(11票)
- ◆3位…新しい夏の過ごし方
～WITHコロナの夏～(7票)

7月から始まったレジ袋有料化に合わせて特集したふるしきの活用術や健康、WITHコロナの夏の過ごし方に関する記事に注目が集まりました。

いつも「広報まじむる」をご愛読いただきありがとうございます。7月号は、ふるしきの活用術やフレイル予防のための体操など、生活の中に取り入れられるような話題も多くすぐに実践したという声や「レシピ帖の料理を作った」という報告「これから季節に備えて水の作り方を覚えておきたい」という意見もあり、皆さんの生活に役立つ情報を発信できている喜びを感じました。これからも、皆さんからの声や時代の流れに沿った話題をお届けできるよう頑張ります。

《広報広聴課》